

2020年1月10日
日本木材加工技術協会九州支部
国産早生樹連絡会
会長 九州大学 松村 順司

早生樹最前線 II-1のご案内

日本政府が2020年林業イノベーションの中に掲げている一世代での林業経営と施業育成の省力化を推進する内容に沿う国産早生樹の取り組みが現在どのように進んでいるのか、実用化に向けた植栽と育林、伐採後の木材利用についての各地の現状を発表いただき、山林所有者や森林組合の皆伐後の再造林や地域に適合した苗木の提供、育林の方法や施業の省力化、間伐や間伐材の活用、皆伐での家具や建材への用材としての活用などについて活かしていただければと思います。是非ご参加をお待ちしています。

日程：2020年2月28日（金） 13時00分開場 13時30分～17時05分

会場：九州大学椎木講堂（福岡市西区元岡744）

開会の辞：日本木材加工技術協会九州支部 国産早生樹連絡会 会長 松村 順司 教授(5分)

来賓挨拶：林野庁 長官 本郷浩二

講演内容：

1. 早生樹の商品展開と実用化に向けた活動

① (協)福岡・大川家具工業会が取り組む「SOUSEI」PJ活動 (14:00～14:20)

(株)丸仙工業 社長 田中 智範 「SOUSEI」PJリーダー

② 大川が仕掛ける早生樹と家具・建材・資材の海外販路開拓 (14:20～14:40)

(有)トマト 社長 池末 和海 大川化粧合板協同組合 理事長

全国天然木化粧合板工業共同組合連合会 副会長

③ 荒廃農地対策と木質材料原料としてのセンダン (14:40～15:00)

京都府立大学大学院生命環境科学研究科 助教 糟谷 信彦

④ 早生樹の実用化に向けた活動の重要性 (15:00～15:20)

パナソニックライフソリューションズ創研(株) 中ノ森 哲朗 上席コンサルタント

質疑応答 (15:20～15:30)

休憩 (15:30～15:45)

2. 林業への取り組み提言に向けた実践活動

① センダンの育成と経済性 (15:45～16:05)

熊本県林業研究・研修センター 横尾 謙一郎 育林環境部長

② センダン植栽の普及拡大と育林技術の確立を目指して (16:05～16:25)

センダン未来研究会 福田 国弘 代表

③ チャンチンモドキ、ユリノキの育成 (16:25～16:45)

大分県農林水産研究指導センター林業研究部 佐保 公隆 主幹研究員(総括)

質疑応答 (16:45～17:00)

3. 閉会の辞（17：00～17：05）

4. 懇親会（イトリーイト）17:30～19:30

椎木講堂内にあります。

会費：5,000 円

事前に懇親会参加をお申し込み下さい。

・参加費：4,000 円

学生は無料。但し有料入場者で満席の場合は席が確保できない場合があります。

・申込方法

①お名前、②ご所属、③ご連絡先(ご住所、電話番号、Email アドレス)、④懇親会の参加の有無を明記の上、メールまたはファックスにて 2020 年 1 月 31 日（金）までに下記宛にお申し込み下さい。参加費（¥4,000 円）および懇親会費（¥5,000 円）は当日受付にてお支払い下さい。領収書をご希望の方は当日受付にお申し出ください。

申込先：日本木材加工技術協会九州支部

Email：woodind9-f@agr.kyushu-u.ac.jp Fax：092-802-4659

アクセス：西鉄バス：博多駅から九大ビッグオレンジ下車（1時間）

地下鉄&昭和バス：福岡空港または博多駅から、唐津行きまたは筑前前原行きに乗り、九大学研都市駅下車、昭和バスに乗り、九大図書館前、または九大ビッグオレンジ下車

*この期間、椎木講堂1階で九大農学部百年の至宝展が開催されています。

国産早生樹連絡会の会長である松村順司教授の研究室は歴史が古く、農学部創設時からあります。

2代目教授である金平亮三が収集した標本（金平コレクション）の一部が展示されております。タイプ標本が200点あり、現在でも世界中の研究者から問い合わせがあります。

開始時間前や終了後にご見学下さい。他にも興味深い展示があります。